

社会福祉法人

令和3年8月号



# 葦の家福祉会だより

## きょうされんグッズデザイン コンクールに入賞しました!



きょうされんとは、成人期の障がいのある人たちが、地域で働く・活動する・生活することを応援する事業所の全国組織です。

このきょうされんが開催する「きょうされんグッズデザインコンクール」に毎年多くの仲間たちが応募しています。今回、このコンクールで、えーる油山の三浦さん、葦の家の有馬さんの作品が見事入賞し、商品化されました。入賞すると今回のようにグッズのデザインに使用され、全国大会で表彰されます。これまでも北海道、東京、福岡と全国各地で大会が開催されており、その表彰台に立つことを目指して、創作活動に取り組んでいる仲間も少なくありません。昨年度、新型コロナウイルスの影響で、全国大会は中止となりましたが、早く通常の大会に戻り、仲間と一緒に全国大会に行ける日が来ることを願っています。

また、福岡県では、例年「きょうされん仲間の学習交流会」が開催され、県内の事業所から多くの仲間が集まり、分科会に分かれて交流していましたが、全国大会同様中止となってしまいました。昨年度から様々な行事が中止となり、他の事業所と交流する機会が少なくなっていますが、今回のようにグッズの販売を通して多くの方にえーる油山や葦の家、仲間のことを知っていただけたらと思います。



左) えーる油山 三浦倫史さん作「mood Pachimon」

下) 葦の家 有馬亮介さん作「武士」



## 入賞した仲間たちの声

### 三浦倫史さん

色々なふんいきを形で表そうとしました。  
マウスで形をかくのがむずかしかったです。



色々なふんいきを形で表そうとしました。  
マウスで形をかくのがむずかしかったです。

### 有馬亮介さん

武士のよろいや着物の  
の木葉木葉など細かい部分まで表現しました。



武士のよろいや着物の模様など細かい部分まで表現しました。

## ～ わははまつり中止のお知らせ ～

今年も新型コロナウイルス感染収束の見通しが立たないため、残念ながら中止することになりました。毎年、お手伝いいただいていた皆さん、開催を楽しみにされていた皆さん、本当に申し訳ありません。

次年度以降、また地域の皆さんに喜んでいただけるような祭りが開催できるよう、スタッフ一同、頑張っていきます。





## ご挨拶

このたび、社会福祉法人葦の家福祉会の理事長に就任いたしました。葦の家は、障がいがあっても地域の中で働きたい、ふつうの生活を送りたい、という障がいのある仲間や家族の願いにそって事業を行ってきました。障がいの重い人でも、昼間は働いたり、活動に参加したり、休みの日は外出したり、思い思いの過ごし方をしたい…。そのために事業を創出し、制度改善の運動を行い、障がいの重い人たちの地域生活を前進させてきました。

理事長就任は今回で2度目となります。前は平成17年、障害者自立支援法による制度改変に対応し、収支の改善、在宅サービスの整備などの課題を多くの方々のご協力により法人として乗り越えることができました。今回は思いもかけなかったコロナ渦の中、恒例の地域交流行事“わはは祭り”は2年続けて開催中止となりました。世の中全体にも閉塞感が漂っています。

法人では、利用者、家族の高齢化と親亡き後の問題が喫緊の課題になっています。スタッフも140人を超え、職員が安心して働ける環境作り、次世代への運営の継承も大きなテーマです。職員がモチベーションを持てる新しい地域貢献・社会支援事業の創出も必要だと考えています。

ただ、時代は変わっても、法人理念のもと利用者、家族の願いを中心にし、地域や関係者にかかれた事業運営は変わりません。次世代のスタッフが障がいのある仲間たちとともに未来を切り開いていけるルール作りが今回の私の役割だと考えています。

ワクチン接種が進み、明るい兆しも見えています。みんなの希望と光を信じ、コロナ後の再生をめざします。何卒、これからの法人の取組みにご理解を賜り、ご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

理事長 友廣 道雄



## 入所式を行いました！



今年度は葦の家とえーる油山、それぞれ1名ずつ新しい仲間が増えました。新型コロナウイルス対策のため、三密を避けた簡素な式典となりましたが、お二人の入所を温かく歓迎しました。

現在、お二人ともそれぞれの施設で、作業・活動にがんばって取り組んでいます！





# 令和2年度事業報告

## ～ 昨年度の法人・事業所活動を振り返って ～

昨年度は、コロナ禍によるサービスの自粛や関係者の罹患による休所・休業などもあり、支援現場、運営面に大きな影響がありました。各現場では感染防止対策や緊急時対応を行い、わはは祭りや実践研究発表会などの行事は中止せざるを得ませんでした。収支面ではホームヘルプやショートステイ等の在宅生活支援部門では減収となりましたが、法人全体で見ると大きな収入減はありませんでした。

昨年度は第4次中期事業計画の初年度でした。計画を進めていた放課後等デイサービスの立ち上げは、職員確保の難しさと新型コロナの収束状況がみえないことがあり、一時凍結としましたが、公益事業「いいねっと」の事業開始、グループホームの部分再開など、次期に向けた動きを始めています。労務管理面ではハラスメント防止規程の整備など、職員処遇のための規程改定などを進めましたが、組織・給与体系の見直しなどの抜本的な組織制度改革については進めることができませんでした。

災害時におけるBCP（事業継続計画）の整備は進みましたが、今年度に入って、グループホームでは関係者のコロナ感染により危機的状況が生じ、その対応に追われました。今後、このような危機に対して法人全体でどう取り組むのかが大きな課題となっています。

## 令和2年度 決算報告

資金収支計算書			
令和2年4月1日～令和3年3月31日		(単位:千円)	
収入		支出	
科目	金額	科目	金額
事業活動収入	513,540	事業活動支出	442,314
施設整備等収入	6,088	施設整備等支出	6,188
その他の活動収入	0	その他の活動支出	10,038
		当期資金収支差額	61,088
合計	519,628	合計	519,628

事業活動計算書			
令和2年4月1日～令和3年3月31日		(単位:千円)	
収益		費用	
科目	金額	科目	金額
サービス活動収益	508,965	サービス活動費用	452,403
サービス活動外収益	4,575	サービス活動外費用	4,219
特別収益	6,088	特別費用	6,088
		当期活動増減差額	56,918
合計	519,628	合計	519,628

貸借対照表			
令和3年3月31日現在		(単位:千円)	
資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	411,138	流動負債	22,465
固定資産	366,996	固定負債	52,959
		純資産	702,710
資産の部合計	778,134	負債及び純資産の部合計	778,134

令和2年度の法人決算書をご報告いたします。

なお、決算内容につきましては、施設にて閲覧することができます。



令和2年度の事業報告書は法人のホームページ、決算関係書類はWAM（福祉医療機構）の「財務諸表等電子開示システム」にて公開しています。

# 法人内各事業所からの報告



## 葦の家（生活介護）

新しい活動を頑張っています！

仲間たちは現在、南区の4つの公園の除草作業やゴミ拾い、葦の家近隣の公園のトイレ清掃に取り組んでいます。そして今年度から、葦の家前にある駄ヶ原川の愛護活動をスタートしました。河川沿い約280mの除草作業と、パトロール活動を中心に行っています。

これまで日中活動で近隣へのウォーキングを行っていましたが、その活動にパトロール活動を加え、ゴミ拾いや危険箇所がないか見ながら歩くことで、地域貢献につながるようになりました。地域の方に「ありがとうございます」と声を掛けていただき、仲間の励みにもなっています。これからも地域のために、仲間や葦の家ができることを考え、活動していきます。

（生活支援員：内野）



## えーる油山（多機能型：就労継続B型+生活介護）



バスに展示されるよ（\*^-^\*）

「くぼらだんだんアート2021」の表彰式が、今年度はコロナ感染予防のため、えーる油山内で個別に行われました。「だんだんアートプロジェクト」とは、絵画を通して、障がいのある方々の社会参加のきっかけを作ることを目的としたプロジェクトです。障がいがありながらも素晴らしいアートの才能を持つ方々の可能性を広げるために、福岡県内を中心に作品を募集しており、このたび、えーる油山の仲間が一般投票で選ばれる「一般部門賞」を受賞しました。757作品から選ばれた絵は、福岡市内を走る西鉄バスラッピングデザインに採用され、車中に飾られています。113番を走行中とこのことなので、乗車の際は、ぜひ探して楽しまれてください。

くぼらだんだんアート2021 ～西鉄バスラッピング～



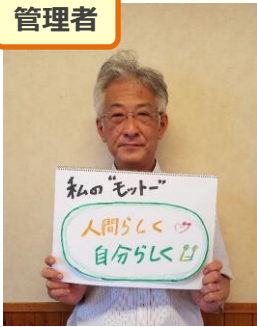
113番の博多駅-国体道路-天神-国体道路-六本松-観光道路-片江(営)を走行中です。

（生活支援員：山内）

# 特別支援学校放課後等支援事業（屋形原・若久）

職員紹介！ ～ フリップ DE 自己紹介 ～ テーマ “わたしのモットー”

## 管理者



『人間らしく♡自分らしく♡』

友廣 道雄（ともひろ みちお）

勤務歴：33年目  
出身：福岡市博多区  
趣味：ギター、囲碁、読書など

Q. 子どもに戻れたら何する？

A. 川遊び、海水浴

## 責任者



『フットワーク良く!!』

是永 匠吾（これなが しょうご）

勤務歴：7年目  
出身：福岡市中央区  
趣味：サッカー観戦

Q. 子どもに戻れたら何する？

A. 夏休みを使って自転車の旅

## 支援員



『共に♪楽しむ!』

大庭 遥輝（おおば はるき）

勤務歴：3年目  
出身：粕屋郡須恵町  
趣味：水族館めぐり

Q. 子どもに戻れたら何する？

A. 楽器を習いたい

## 支援員



『笑顔で穏やかに♪』

大塚 亜也（おおつか あや）

勤務歴：新任 ♪.°  
出身：岐阜県  
趣味：ピアノ、一人旅

Q. 子どもに戻れたら何する？

A. 夏休みの“大”冒険

放課後ルームの職員体制が4月から新しくなりました♪

それぞれの“モットー”を大切に、子どもたちの笑顔あふれるルームをつくります!!

## ヘルパーステーションほっとほっと・ショートステイ

研修で支援の話をたくさんしています！

当事業所では、サービスの質の向上のため、スタッフ全員参加の全体研修を毎月開催し、技術、知識を高める場としています。特徴として、①ホームヘルプ、ショートステイ合同で開催していること、②皆で一つの事例に対して意見交換できること、③障がい福祉分野の経験年数が1年目から20年以上のスタッフが在籍していることがあります。

サービスの情報を共有する場がこの「全体研修」となります。コロナウイルスの状況や社会情勢を勘案し研修を延期・短縮することがありますが、サービスの質の向上を目指す機会が損なわれないような工夫やアイデアが必要となっています。

私たちの出来ることを模索し、毎月1回の貴重な研修を続けることで、ホームヘルプやショートステイ事業が利用者のために力を発揮できるようにしていきます。

猛暑が続くことが予想されますが、熱中症対策を万全に、日々のサービスを頑張りたいと思います。

（サービス提供責任者：臼井）





## 相談支援（基幹相談支援センター・相談支援センターあしっぷ）

### 区内のネットワーク構築について

基幹相談支援センターでは、利用者の支援を広げる目的で区内のネットワーク構築に取り組んでいます。城南区では障がい福祉サービス事業所を中心としたネットワーク「城南サポネット」を構築しています。互いに顔の見える関係を作るとともに、各事業所の特色を理解し、個別の事例で連携がとりやすくなるよう、定期的に会議を開催しています。

昨年度からはオンラインでのネットワーク会議を始め、先日7月13日には各事業所の特色を改めて知り連携を深めることを目的に「城南区はじめまして会」を行いました。オンラインで昼・夜2部開催し、合わせて27事業所、36名の方に参加いただきました。

初めて参加いただいた事業所の方や昨年度から声かけを行っている医療機関や地域包括支援センターの方にも多く参加いただき、分野を超えたネットワーク構築の第一歩になれたのではないかと思います。参加者からは、「他の事業所の取り組みが聞けて参考になった」、「オンラインで顔を見られて繋がりを感じられた」など好評でした。この会を契機として、さらにネットワークを広げていき、個別の事例における支援の幅を広げていきたいと考えています。



（主任コーディネーター：白石）

## グループホーム（すてっぷ・すまいるホーム）

### 仲間と一緒に防災対策を

今年5月に、内閣府（防災担当）・消防庁より、避難勧告の廃止と警戒レベル4避難指示で危険な場所から全員避難することとなりました。また、避難に時間のかかる高齢者や障がいのある人は、警戒レベル3高齢者等避難で危険な場所から避難するように通知が来ています。すまいるホームの近くには樋井川が流れており、大雨での被害がある可能性があります。いつ、どこで起こっても不思議ではなくなった現在、防災の意識を高くしておく必要があります。

今年度ホームでは、目的を持って避難訓練の実施に取り組んでいます。6月に実施した避難訓練では、大雨を想定した垂直避難訓練を初めて実施しました。職員が1階から2階に災害時備蓄品を持って行くことや1階に住んでいる仲間が2階に避難することなどを行いました。スムーズに行かない場面も見られましたが、訓練で出た課題を仲間と一緒に解決して有事に備えていきたいと思えます。仲間からは「大雨が降ったら近くの学校に行かないといけない」、「逃げないといけない」といった意見も頂きました。新型コロナウイルス感染症の対応もあり、大変な時期ではありますが、仲間と一緒に頑張って乗り越えていこうと思えます。



（支援員：志垣）

# 令和3年度 新評議員・新役員のご紹介

任期満了に伴う評議員・役員（理事・監事）の改選が6月から7月にかけて行われました。  
新しい評議員・役員は以下の通りです。

任期：評議員 令和7年に開催される定時評議員会終結時まで  
役員 令和5年に開催される定時評議員会終結時まで

## ○評議員 10名

- ・石松周（団体役員）
- ・大神道子（民生委員・児童委員）
- ・大川絹代（障がい者施設 事務局長）
- ・吉田修一（障がい者施設 施設長）
- ・秋根喬（司法書士）
- ・疋田初美（保護司）
- ・党一浩（高齢者施設 管理職）
- ・高田英雄（民生委員・児童委員）
- ・中庭洋一（医師）
- ・吉浦隆紀（地域づくり活動家）

## ○理事 8名

- ・友廣道雄（葦の家福祉会法人本部長） ※理事長
- ・坂本良二（葦の家副施設長）
- ・池上洋一（IT 企業勤務、親の会活動）
- ・中原義隆（団体役員）
- ・市丸健太郎（弁護士、社会福祉法人理事）
- ・藤環（グループホーム・重度包括支援管理者）
- ・廣渡次郎（社会福祉法人常務理事）
- ・古賀知夫（社会福祉法人役員）

## ○監事 2名

- ・並川敦弘（財務管理：社会福祉法人事務局長）
- ・石田照年（法人経営：社会福祉法人常務理事）

## 冬の新作に ご期待ください！

葦の家では毎年、夏・冬に創作授産品の新作を発表しています。今年度冬の新作は「おてがみセット」。4種の新作便箋とかわいい封筒がセットになっています。現在、販売に向けて着々と準備中です。ご期待ください！



## 社会福祉法人 葦の家福祉会だより 令和3年8月号

発行日 令和3年8月1日

編集・発行 社会福祉法人 葦の家福祉会

〒814-0153 福岡市城南区樋井川4丁目1-17

〈代表〉Tel 092-873-7481 Fax 092-834-3362

E-mail [asinoie@blue.ocn.ne.jp](mailto:asinoie@blue.ocn.ne.jp)

URL <http://www.ashi.sakura.ne.jp>